

## モニタリング結果報告書

施設	観音崎公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園グループ
施設所管課	横須賀土木事務所

(平成 23 年度 下半期)

### 管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

＜判定理由＞

下半期の公園利用者数は、週末に天候の悪い日が多く対前年度比減少となったが、植物管理や施設管理などを計画どおり進めるとともに、上半期より様々な関係機関と調整を続けてきた「観音崎フェスタ」や「桜の植樹祭」などの大型イベントを事故なく無事に開催した。また、提案書にある「防災イベント」等の新規イベントも開催した。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。  
 B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。  
 C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。  
 D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/10	12/1	○	○	×	なし	
11月	12/9	1/5	○	○	×	あり	いこいの水辺ポンプ故障について、池の水抜きの上、現況調査する等対応の検討を指示
12月	1/10	2/3	○	○	×	なし	
1月	2/10	3/2	○	○	×	あり	初日の出見物等の年末年始の園内対応状況の確認
2月	3/10	3/30	○	○	×	なし	
3月	4/10	5/9	○	○	×	あり	防災イベント、観光事業者交流会の実施状況の確認

### 3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

#### <提案内容の概要>

1. 花の名所として公園の魅力アップ、サクラの計画的育成

#### <実施状況>

- ① 第3回サクラ植樹祭の実施（2月） 参加者 実績 300名（目標 150名）  
観音崎公園を花の名所とし、観光客誘致や花を増やす活動を通じて、地域の活性化を図ることを目的に開催。鴨居地区連合町内会、来賓者により、高さ3.0mのカワヅザクラ、ヨウコウザクラを各10本ずつ植樹。  
また、岩波幼稚園、鴨居幼稚園、ケンコー幼稚園の園児による花苗植付け（サクラソウ）のイベントも同時開催した。
- ② 花のボランティア活動  
平成22年度に立ち上げた「花のボランティア」活動を継続実施。  
花の広場花壇にて月1回の活動。活動内容は、花苗の育種や除草、花卉植え付けなど。講師のワンポイントレッスンにて、参加者に緑の普及啓発をおこなっている。  
地域近隣住民とともに花の名所としての公園魅力アップ活動を継続した。
- ③ 公園まつりの開催  
平成23年度は、5月うの花まつり、6月アジサイ祭、10月ソナレマツムシソウ祭、2月さくら植樹祭を開催した。

#### <提案内容の概要>

2. 地域の生きものを育む水・みどりの自然環境拠点づくり

#### <実施状況>

- ① 草地ビオトープ  
バッタやコウロギなどの昆虫に配慮した除草作業や刈草を集積した虫のねぐら等生物多様性に配慮した取組みを実施した。この取組みは、今年度小学校3年生用理科教科書（教師用指導書）に掲載された。  
また、近隣の幼稚園を招いて、虫のねぐらモニタリングを実施（10月）。幼稚園児は実際に昆虫と触れ合う機会ができ、名前、種類を学んだ。
- ② 希少植物の保護  
ボランティア団体「植物を守る会」により、希少植物の調査、保護、圃場での復元に取り組んだ。（月1回）
- ③ 鳥の巣箱・エコスタック  
ボランティア団体「森の手入れボランティア」により、鳥の巣箱を作成し、公園内の樹木に設置した。（1月）  
また、エコスタック、チップ置場を設置（4月）し、カブトムシ・クワガタ等甲虫類の生育の場を配慮した。

<提案内容の概要>

3. 多様な「地域の交流」拠点づくり

<実施状況>

① 地域連携懇話会の開催

平成23年4月に閉村した青少年の村の今後の活用方法(2月)や三軒家園地再整備(9月)について、近隣の方や関係者とワークショップ形式の地域連携懇話会を県と合同で開催。

② 公園みまわり隊ボランティア結成(月1回)

ボランティア団体「公園みまわり隊ブルーフォークス」を結成し、防犯パトロールを実施。

地域の目による、防犯抑止力ならびに公園の季節の変化やみどころやイベント開催について情報交換・交流を図った。

③ 三浦半島観光事業者交流会への参加(3月)

観光事業者(バス会社、旅行会社)の集まる交流会に参加し、観音崎公園の魅力をプレゼンテーションにて発表し、観光バス、観光客の誘致を行なった。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	108,001 (10,7581)	80,220 (79,800)	0	27,781 (27,781)	108,001 (107,581)	0 (0)
下半期 予算額	50,999	41,888	0	9,111	52,435	△1,436
10月	8,463	6,714	0	1,749	10,140	△1,677
11月	8,287	6,864	0	1,423	6,995	1,292
12月	8,204	7,397	0	807	7,147	1,057
1月	8,245	6,870	0	1,375	7,989	256
2月	7,851	6,914	0	937	7,435	416
3月	8,026	7,129	0	897	9,972	△1,945
今年度 下半期計	49,079	41,888	0	7,191	49,680	△601
前年度 同期計	47,536	40,188	0	7,348	57,767	△10,231

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。  
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。  
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>  
 ⇒該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	1,367千円	屋外トイレ浄化槽修繕工事(422千円) 倒木処理工事(945千円)
下半期	6,364千円	複合遊具安全対策工事(931千円) 展望園地四阿屋根材修繕工事(390千円) 支障木伐採工事(493千円) 護岸・園路補修工事(997千円) ビジターセンター研修室空調設備修繕工事(542千円) 海岸護岸保安施設設置工事(436千円) マテリアル便所建具修繕工事(446千円) うみの子とりで木製デッキ修繕工事(869千円) 樹木伐採工事(499千円) 園路安全対策工事(756千円)
総額	7,731千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

## 5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	60,500人	65,000人	△6.9%
11月	88,800人	87,900人	1.0%
12月	55,000人	61,500人	△10.6%
1月	48,300人	64,000人	△24.5%
2月	45,000人	48,500人	△7.2%
3月	58,000人	48,000人	20.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	386,700人	445,000人		△13.1%
今年度下半期計	なし	355,600人	374,900人		△5.1%

### 利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。  
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

- ①② 該当なし

## 6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	9 (0)	17 (2)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	33 (2)

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・海上交通センター横の園路に倒木あり	当日に倒木処理済み
	・灯台下トイレの水が流れない	電力ブレーカーが落ちていた。復旧後排水
	・EV充電器のさびがひどい	保障期間内のためメーカーで部品交換した
職員対応	・森のワゴンで具合の悪い人がいる	管理員が現場へ救急車を誘導した
	・公園内に迷い犬がいる	公園で一時保護後、飼い主が現れた
	・ゴジラの足跡が汚れている	今後、巡回点検を増やし適宜清掃する
事業内容	・砲台がイベントの定員が少ない	定員に達したため、次回開催案内をした
	・森のコンサートのイベントにて大変感激した	次回開催の案内をした
	・公園工事における樹木の伐採方法	工事実施までのこれまでの経緯を説明
その他	・震災後の放射線量が気になる	安全防災局の測定結果にて回答した
	・園内での飼い犬のリード	犬のマナーの放送をいれ注意喚起した

## 8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

## 9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

## 10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>サクラ植樹祭、地域連携懇話会の開催、花のボランティア活動の継続、公園見まわり隊の活動、地区自主防災訓練への参加など地域とより密着した連携が実施できた。今後は観光公園を発展させるため、土産物の開発や自然環境を楽しめる公園をより多くの方に周知してもらうため、公園連絡協議会や旅行会社と連携した広報活動・情報発信などに力を入れていく。</p> <p>次年度は、さらに県民意識拡大のため、地域住民の参加増大を企画し、地域や地元住民と共に特にみどり環境の啓発、省エネ(節電・節水)などを含めた環境配慮への貢献に努めていきたい。</p>
施設所管課	<p>第3回桜の植樹祭(2月)や県歩け歩け協会との桜植樹(3月)、“花のボランティア”の花の植付など、観音崎公園「花の魅力づくり」事業の一環の様々なイベントを開催して、地元連合町内会をはじめとした一般の県民や団体と協働した公園の魅力作りに努めていた。</p> <p>また、地域の防災訓練へ参加(11月)するとともに、地元の消防局や警察署と連携した「第1回防災イベント(3月)」を開催して、救命救急体験や消火器体験、火おこし体験、バケツリレー体験などを地元住民や一般来園者に体験してもらうなど、防災意識の向上などに努めていた。</p> <p>次年度は、次回開催でのイベントの内容のスパイラルアップに努め、県立公園における防災・防犯の県民意識の向上や県施設の災害対策機能の向上にさらに努めてもらいたい。</p>